

西国巡礼慈悲の道

西国第二十二番

補陀洛山

総持寺

眼施について

住職 中西隆英

ようこそ御参拝ください
ました。

我々は人々との交際が無
くては生きてゆけません。
よい交際を持つことに幸福
があります。そして交際と
は、音信、飲食、旅行、物
品の贈答等をするのが、
表面に現われて来るのであ
りますが、それが形式だけ
の物であったり申し訳にす
る義理一片の物であるなら、
虚礼となって、はなはだ味
気ないものであります。本

当の交際は真心と真心との
交換でなくてはなりません。

それについては仏教では無
財の七施（眼施、顔施、言
施、身施、心施、座施、舎
施）ということをお教えして
います。

第一番の眼施とはどのよ
うな教えでしょうか。

「人を見たら泥棒と思
え」ということを申します
が、私どもは人を疑う前に
先ず自らを反省しなければ
なりません。私達はともす

れば自分よりは美しいもの
を見て嫉み、みぐるしいも
のを見ては、さげすむので
すが、このあさましい心は
自他を傷つけ、この世をす
さますばかりであります。

「観音経普門品のなかに「慈
眼視衆生」という聖句があ
ります。慈悲をつかさどる
観音さまが我々を見守り下
さること。そのことがな
よりも尊い施しであります。
他人に対して若しくは他人
の生活を見るに母が子供を
見るような慈愛のこもった
眼を以てすること、愛の輝
く眼、親切のこもった見方。
つまずいた人の姿を見た
きは、裁きの眼であれこれ
言うよりは黙って涙ぐむ慈
悲こそ尊い施しであります。
観音様の御慈悲を共に実

実践しましょう。



西国第二十二番

補陀洛山

総持寺 そうじじ

高野山真言宗

御本尊／千手観世音菩薩 開基／中納言山蔭柳

おしなべて おいもわかきも そうぢどの

ほとけのちかい たのまぬはなし

観音風光

四月十八日本尊様御開扉
 法要の日には、開山堂にお
 いて山蔭流庖丁式が執り行
 われます。古式に則り行わ
 れる庖丁の妙技を是非ご覧
 ください。

主な年中行事

二月三日 節分会
 四月十五日～二十一日 本尊御開扉西国御砂踏法要
 五月 四国巡拝
 七月初旬 胡瓜加持法要
 八月初旬 ペットお盆供養
 八月十五・十六日 精霊送り
 九月 坂東秩父巡拝
 十月 四国巡拝

〒567-0801 大阪府茨木市総持寺1丁目6番1号
 TEL 072-622-3209 <http://www.sojiji.or.jp/>
 納経時間 午前8時～午後5時

仏教用語一口解説

不悪口とは

「悪口を言ってはならない。」という意味。「悪口」とは他人の不利益な事をいうことを指しますが、仏教では、汚い言葉、粗暴な言葉を使う事も意味します。「てめえー」とか「むかつく」「ざけんなー」など最近よく耳にする言葉です。本来、日本語は表現も豊かで、しかも人を思いやるととても美しい言葉です。以前は、外国人から日本人は心優しく親切だとよく言われました。粗暴な言葉は人を不愉快にさせ、心も刺々しくして行きます。優しい言葉を話そうと心がけて生活することが大切です。

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきます。